

マクロ経済学の基礎 質問と回答

2005 年 1 月 25 日

ケインズと新古典派

○ケインズ経済学と新古典派の違いは授業中に言った学校の勉強にたとえるとこんな感じといわれたことが思い出せなくて困りました。

▲新古典派は競争を重視するということだと思います。能力別クラス分けとか。

○ケインズ経済学と新古典派経済学はぜんぜん違ったものだけど、混ぜたようなものはないのかな？と思った。

▲政府のやり方は「いいとこどり」という感じもします。

○サプライサイド経済学というのがいまいよくわからないです。あと、ケインズ経済学と新古典派の違いはなんとなくわかったのですが、古典派と新古典派の区別がはっきりしません。

▲古典派と新古典派の考え方は基本的に一緒ですが、ミクロ経済学の詳細な分析を基盤にしたのが、新古典派といえると思います。

○古典派経済学、ケインズ経済学、新古典派経済学と学んだのですが、この経済状況の時はこの経済学を使うということは誰が決めるのですか？これからも新しい経済学が出てくる可能性はあるのでしょうか？

▲新しい経済学が出てくる可能性はあると思います。

○時代によってケインズ経済学と新古典派経済学とでは支持される率が多少違いますが、それはその時代の経済状況によって決まるのですか。それともただ単に、その時代の人の好みで決まるのですか。

▲好みというより、実際の経済のあり方（失業が多いのか、インフレがひどいのか）と、思想（競争重視か、公平さ重視かなど）によって決まる。

○アダムスミスの国富論やマルサスの人口論などいろいろな経済学がありますが、どの方法が経済に一番いい傾向をもたらしたのですか？

▲時代によって違うのでしょうか。今は、新古典派的な考え方が主流。

○ケインズ経済学は近代経済学ということですが、資本主義と共産主義の間にあるってことですか？修正資本主義とか？また社会主義と共産主義の違いがよくわかりません。共産主義は政府もない平等な国家ってことですか？国家というのかな？

▲ケインズ経済学も近代経済学も資本主義に関する経済学です。

○新古典派経済学が種類が多くよくわからない

▲困りましたね。

○ケインズ派と新古典派では意見や考え方など食い違っているところもありますが、お互いのよい部分を取り上げ一つのは「派」を作ることはないのですか？

▲短期はケインズ、長期は新古典派という感じで住み分けているようです。

○ケインズ派のような労働市場では賃金よりも高い水準のところをとり雇用量が減少して

しまい現行の賃金でも働く意思があるのに働けない非自発的失業が生じるので政府は政策をたてているそうですが、実際どのような政策がたてられているのですか。

▲需要を増やすための政策。

純生産

○国民、国内の総生産、純生産の違いが混じる。

○総生産と純生産の違いや差がよくわからない。どっちがどっちなんだかごちゃごちゃになってしまう。

○国内純生産と固定資本減耗を足したものが国内総生産であるが、この固定資本減耗の数の出し方の基準値みたいなものはあるのでしょうか。たとえば、中古車は走った距離などで値段が変わってくるけれどその基準みたいなものは誰がどのようにしてきめるのかが気になりました。

○国内総生産（GDP）と国民総生産（GNP）の違いはわかりましたが、純生産が入ってくるとややこしくなってしまう。国内純生産、国民総生産はGDP、GNPとどう違うのですか。

○固定資本減耗ってどのようにして数に表すのでしょうか。そのものを使い始めた時点ではそれが何年使えるのか、使うのかはわからないと思うのですが。

○国内純総生産、国民純生産の“純”は結局どういう意味なのでしょう。また、どうして“GDP=付加価値”なのでしょう。

○国民総生産と言うのがあんなら、国民純生産はないのですか？国民所得は日本人が外国で働いてもらった所得は入らないのですか。

▲純生産は、固定資本減耗を除いたもの。

耐用年数 自動車 6年、机、いす 15年、テレビ5年、パソコン4年、電話6年など

SNA

○自転車の生産で各産業ごとに「生産額 - 中間投入 = 付加価値」の値を出すことでGDPがわかるが、このほかにどんなことがあげられますか。

▲？

○マネーサプライは国内総生産とどのような関係があるのですか。マネーサプライと国内総生産が同じもののように感じてしまいます。

▲モノからみたのが国内総生産、お金から見たのがマネーサプライ

○フローとストックは付加価値が増えると変化しますか。消費率が上がることと関係しているのか。

▲？

○モノもいつも同じ値段とは限らないと思うのですが、付加価値や中間などを計算するとき、平均値をとって計算しているのですか。

▲財務諸表をもとにしているので、平均ということになります。

○国民経済計算に主婦の働きが入らないという話が出て、主婦の労働をどのような基準で計算するかとか、計算しづらいから国民経済計算にいれてないと言っていたが、数字に表すことができるものとできないものがあるのは、そもそも国民経済計算に支障がないのか。

▲小さければ支障はないと思います。

○GDP と GNP は国内と国民が基準になっています。外国にいる日本人は日本の GNP の基準で、また日本にいる外国人は GNP の対象外ということですが、これはどこの国も共通なのですか。国でもし違う方針だったら何を基準に考えたらよいのでしょうか。

▲国連でガイドラインを決めているので、どこの国も共通です。

○国内総生産と国民総生産の2つがあるが、新聞やニュースで大きく取り上げられるのは国内総生産の方だけであるのはどうしてですか。そもそも国民総生産は国内総生産を計算したものから海外からの要素所得の受け取りを足して、海外からの支払いをひいたものなのだから、国内総生産がもとになっているので、あまり取り上げられないと計算する必要がない気がする。国民総生産はどのようなところで使われるのですか。

▲住居にかかわらず、日本人の働いた所得を知りたいとき。

○この授業を受けて、国内総生産と国民総生産、また純生産とよく似たものがたくさん出てきて混乱した中で、総生産 = 所得といった内容をみたのに、国内総生産と国民所得は違うので不思議に思った。

▲3面等価で生産 = 所得はなりたつが、厳密には総生産と国民所得は違う。

新聞で GDP を出したり、国内純生産をだしたりしているが、そのような情報で何がわかるのですか？その情報を出すことによって誰か得をしたりするのですか。

○国民が自分の国の経済活動がわかって得をする。学生が定期的に単位の数を知らせてもらうようなもの。

○国民経済計算は国内総生産、国内純生産、国民所得、国民総生産以外にまだほかにもあるんですか。

▲いろいろあります。

○国民所得に、せいふからの経済関与である税金の部分をはくのはわかるが、補助金をたして計算するのは良くわからない。補助金も、政府から出たお金であるから国民のみの所得にならないのではないかとと思う。

▲税金と補助金では動くお金の向きが反対になります。

経済データ

○私は人文学科に属していますが、来年から就職活動が始まるので社会に出る前に経済勉強をしたいと思い受講しました。やはり、マクロ経済学で勉強している内容は働く上で重要なのでしょうか。GDP は日経新聞にも取り上げられているので重要なものであるとい

うことはわかりますが、その他のデータや国民経済計算などはどのくらい重要なものなの
でしょうか。

▲失業率や物価はかなり重要だと思います。

○インフレやデフレはかわりがわりやってきますが、何かデフレになるきっかけみたいな
ものはあるのでしょうか。

生産量が同じで価格が上がればGDPも上がり、インフレになる。

生産量が同じで価格が下がればGDPも下がり、デフレになる。

デフレのときは人があまりお金を使ってくれないということはわかりますが、デフレのと
きは物価は下がるのに（半分になるとしたら）なぜ生産量が倍にならないか疑問に思いま
した。

▲物価が上がると、生産量が減る、物価が下がると生産量が増える。物価が半分になっ
たら2倍モノを買うのでしょうか？

○日本は財政政策と金融政策どちらを大切にしているのですか。公共投資など財政政策を
大事にしているのかとも思うけど、ゼロ金利や量的緩和も行っているんで、どちらなのか
なと疑問に思いました。

▲両方大切にしています。

○景気が悪くなるとものが量的に売れなくなるので物価を高くしている。しかし、最近
はブランドブームとあって高いものでも買う人は多く、需要と供給のバランスが取れてい
ると思う。しかし、なぜ、いまだに不景気が続いているのだろうか。

▲景気が悪くなると、物価を安くします。

覚え方

全部わからない

▲困りましたね。

○同じような言葉、略語が多くて混乱します。なにかよい覚え方はないですか？やっぱ
計算わかりません。でも自分の勉強不足なので次のテストまでにはしっかり勉強しておき
ます。

○授業で出てきた計算式は長いものが多く、すべて暗記するのをつらく感じます。何か良
い覚え方などはないのでしょうか。ちなみに問題6くらいの長さの式は大丈夫です。今回
はテスト問題は先週先生が教えてくださった3問のみと勝手に勘違いをしてしまったため、
式を確認せず臨んだためできませんでしたが、授業中は楽しくとけたので、次回までには
覚えようと思います。

○英語の略が頭に入ってこなかった。特にNDPとGNPややこしいです。マルサスとマル
ルクス...似すぎ!また、問5のように国内総生産や国民総生産の計算式は理解できたので
すが、「日本で、どれだけ生産したか」「日本人はどれだけ生産したか」を計算して、どの
ようなところでこの数値を使うのか、疑問に思った。この数値で何がわかるのですか？

- 国内総生産、国内純生産、国民総生産などいろいろでてきて頭の中がごちゃごちゃしてしまってます。特にGDPやGNPなど通称になってしまうとさらにごちゃごちゃしてしまいます。何か覚えやすい方法はありませんか。ひたすら覚えるしかないのでしょうか。
- 国内総生産、国内純生産と国内総生産、国民総生産の違い。
- 問5をやっている、授業を聞きながら計算したり家でプリントを見ながらやっていると計算できるのに、計算式など何も出ていないところでいきなり計算問題が出てくると、自分の記憶に自信がなくなり頭の中が混乱してうまく計算できません。似たような言葉ばかりなので覚えたとっても少したつとまたわからなくなります。簡単に覚えられ、そして時間がたっても頭が混乱しない方法はないのでしょうか。
- 計算式をうまく覚える方法などありますか？
- 機会計算についてノートとレジュメを見たのですがいまいちよくわかりませんでした。
- GDPとGNPの関係（たとえば日本にいる外国人と海外にいる日本人の所得とか）がよくわかりません。
- 授業中でのプリントでも何度もやってGDPとGNPの違いについて理解したつもりが実際説明できないし、プリントがないとわかりませんでした。
- 計算方法やケインズ経済学と新古典派経済学の具体理論が良くわかりません。
- 問題4のようなグラフが覚えられない。
- ▲覚え方は各自工夫するしかないですね。一度に覚えようとせずに、一つ一つ理解していくのがいいと思います。

グラフ

- この試験を受けて問題4の問題がよくわかりませんでした。というよりグラフを読み取る力がないことに気づきました。つまり理解していないことに気づき、反省です。あとなぜスタグフレーションが起きてしまうのが、何が原因でスタグフレーションは起きるのか疑問に思いました。
- ▲原油価格の上昇など、国内以外の要因で物価が上がるとき。
- GDPの内訳で消費や投資に関するものがたくさんあって何がどれかわからない。また、「生産＝所得＝支出」のいわゆる三面等価の関係がなぜそうなるのかがいまいちわからない。だから国内総支出の計算で国内総生産になる理由もどうしてなのか疑問が残る。
- ▲お金の流れをみれば、三面等価の原則は理解できると思います。

日本経済

- なぜバブルは崩壊したのですか？またバブルは来ますか？
- ▲熱がさめたから。
- 失業率が増え続けたらどうなるの？
- ▲犯罪が増えたりします。

- 今の日本の物価下落はどこまで行くのか。
- ▲そろそろ止まるでしょう。
- 銀行などの利子が安くなっていて、たくさんのお金を世の中に出そうとしているが実際あまり景気はよくなる。どうすればよいのか。
- ▲だんだんよくなっていくと思います。
- 今の中国はけいざいの成長が著しいと思いますが、今後貧富の差が激しくなっていくのではないかと心配してしまいました。
- ▲貧富の差が激しくなると、中国経済も不安定になる可能性があります。
- 日本は何年か前、不景気と言われてきましたが、最近は「景気はよくなってきている」と先生はおっしゃっていました。よくなってきているだけでまだ不景気には変わりないんですか。テストズタズタですみません。
- ▲不景気には変わりはないと思います。
- 失業率は失業者 / 労働力人口であるが、インフレになると失業率も上がるが、デフレになったら本当に失業者は減るのだろうか。
- ▲いまの日本をみると減らないです。
- なぜ金利を下げているにもかかわらず、日本の景気はなかなか回復しないのですか。
- ▲年金の不安、所得の不安など将来への不安で消費が増加しないのが大きい。

実質と名目

- 授業を受けてもわからないところが多い。特に名目 GDP、実質 GDP、GDP デフレーターがよくわからなかった。名目と実質の違いとは何のことなのでしょう。またどのように計算すればいいのでしょうか。
 - 名目 GDP と実質 GDP の差、またその計算の仕方がわかりませんでした。
 - 実質 GDP と名目 GDP の違いがいまいちよくわかりません。
- ほかは先生の授業の話とレジメを照らし合わせるとよくわかりやすく書いてあるので理解しやすいです。
- GDP デフレーターの出し方がよくわかりません。名目と実質の違いがいまいちよくわかりません。計算問題をもっとたくさん授業中でやってほしかったです。ジジユメの問題の答えってあるんですか？あるならほしいです。
 - 名目 GDP と実質 GDP の違いがわからない
 - なぜ、このように数字に出さなければならないのか、名目 GDP と実質 GDP の違いもどう違うのかわかりません。
 - 名目 GDP と実質 GDP の違いは何ですか。
 - GDP が (実質、名目) などたくさんでてきていまいち理解できません。結局 GDP、GNP ってなんなのですか。
 - ▲物価上昇分を考慮するか、しないかの違い。

貨幣供給量・金融

○以前 2000 円札が出回りましたが、あれは貨幣供給量を増やすことと似ているのですか？
新古典派的な考えの政策だったのですか。

▲関係ないです。新しくお札を発行しても、その分古いお札は回収します。

○ゼロ金利にしてもマイナスにならないのか

▲現実的にはならないみたいです。

○金利を高くする時期にも、疑問があってよくわからない。

▲質問の意味がよくわからない。

その他

○数字上同じでも外でおこっていることが違うこと。

▲こういうケースもあるので、マクロ経済学を勉強する意味があるんじゃないでしょうか。

○授業を聞いている疑問というよりもまだ自分が理解しきれていないことのほうが多いです。なので質問や疑問はありません。問題 4 のようなグラフから判断することができません。なのでもう一度授業を思い出しながら、ノートやプリントを活用したいと思います。あとは名目実質 GDP などの値や計算についてです。これについてもグラフ同様理解していきたいと思っています。そうすると自然に疑問などがでてくると思います。そのとき質問しますのでよろしくお願いします。

▲まだ、質問にはきてないと思いますが。

○ミクロとマクロのどちらが難しいですか。この授業でマクロの基礎ではマクロ経済とはどれほど難しいのでしょうか。

▲ミクロの方が、理論的にはすっきりしていると思います。マクロは現実の経済との兼ね合いも考えるので、理論と現実とのギャップの説明が大変です。マクロ経済学の授業はもっと難しいでしょう。